



武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル  
Tel. 03-3211-4831 Fax. 03-3211-6004



『武陽月報』は、武陽食品株式会社と株式会社J-オイルミルズが、酪農家・肉牛農家の皆様に役立つ情報をお届けするニュースレターです。

## 7月生乳生産量前年比 1.8%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、2021年7月の生乳生産量は、63万9,242トン(前年同月比1.8%増)となったことを発表した。地域別には、北海道が36万6,439トン(同2.7%増)、都府県は27万2,803トン(同0.6%増)と、いずれも前年同月を上回った。多くの地域で、梅雨明けが前年より早い7月中旬であったため、その後の気温上昇による生乳生産量の減少が予想されたが、6月の64万621トンを大きく下回る結果とはならなかった。

用途別生乳処理量は、牛乳等向けが34万885トン(前年同月比5.3%減)と前年同月をやや下回った一方で、乳製品向けは、29万4,080トン(同11.3%増)と前年同月をかなり大きく上回った。中でも、脱脂粉乳・バター等向けが14万3,624トン(同16.2%増)、またチーズ向けが3万8,727トン(同16.4%増)といずれも前年同月を大幅に上回った。

## 7月牛乳生産量前年比 4.1%減 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、2021年7月の牛乳生産量は、27万1,204キロリットル(前年同月比4.1%減)と前年同月をやや下回ったと発表した。

区分別に見ると、学校給食用は、COVID-19による春の休校に伴う小中学校の夏休み大幅短縮となった前年度と異なり、今年度の夏休みの開始時期は例年並みとなったことから、2万3,199キロリットル

(同33.8%減)と前年同月を大幅に下回った。また、業務用は需要が引き続き例年の水準には回復していないため、2万3,196キロリットル(同0.2%増)と前年並みであった。

一方、牛乳生産量から業務用と学校給食用を除いた数量は、小売店などで直接飲用として販売される牛乳であり、2021年7月は22万4,809キロリットル(同0.1%増)であった。前年同月を上回るのは本年1月以来6カ月ぶりだが、今年度の直接飲用は、元年度と比較すると上回って推移しており、巣ごもり需要が継続しているものとみられる。

## 2020年度牛乳乳製品自給率 61% 農水省

農林水産省は、2020年度の牛乳乳製品の自給率(重量ベース、概算値)は、前年より2ポイント上昇し、61%となったことを発表した。牛乳乳製品の自給率が上昇したのは、2009年度に71%で前年を1ポイント上回って以来、11年ぶりとなる。

国内消費仕向け量は前年比1.6%減の1,221万5,000トンとなったが、国内生産量が同1.0%増の743万4,000トンとなったため、自給率が上昇した。飼料自給率は前年並みの25%であった。

食料自給率(概算値)はカロリーベースで37%と1ポイント低下し、2年ぶりに前年を下回り過去最低となった。原料を多く輸入している砂糖、でん粉、油脂類などの消費が減少したが、米の需要の長期的減少や小麦の単収が減少したことによる。生産額ベースは67%で1ポイント上昇した。

### 飼料のご用命は

武陽食品株式会社

飼料部宮城営業所 飼料部福島営業所

東北第一営業所山形出張所 担当

## 7月牛肉生産量前年同月比 3.8%減 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、2021年7月の牛肉生産量は、2万9,501トン(前年同月比3.8%減)と前年同月をやや下回ったと発表した。過去5カ年の7月の平均生産量との比較では、0.4%減とわずかに下回る結果となった。

品種別には、和牛が1万4,973トン(同3.0%減)とやや、交雑種は6,964トン(同7.2%減)とかなりの程度、乳用種は7,096トン(同2.2%減)とわずかに、いずれも前年同月を下回った。

また、牛肉輸入量は、5万2,005トン(同1.2%減)と前年同月をわずかに下回ったと発表した。このうち、冷蔵品は前年同月の輸入量が、北米の現地工場が稼働停止した影響で現地価格が高騰したことにより少なかったことから、2万4,954トン(同7.3%増)と前年同月をかなりの程度上回った。冷凍品は、豪州産牛肉の生産量減少や米国产牛肉のアジア諸国への輸出品の増加および米国の国内需要の増加による現地相場の高騰などから、2万7,034トン(同7.9%減)と前年同月をかなりの程度下回った。過去5カ年の7月の平均輸入量との比較では、冷蔵品は4.3%増とやや上回る一方、冷凍品は22.7%減と大幅に下回る結果となった。

果となった。

## 7月牛肉消費量前年同月比 0.9%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、2021年7月の牛肉の家計消費量(全国1人当たり)は195グラム(前年同月比0.9%増)と前年同月をわずかに上回ったと発表した。過去5カ年の7月の平均消費量との比較では、8.0%増とかなりの程度上回った。

また、外食産業全体の売上高は、緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置が首都圏などに適用されたものの、持ち帰り需要が強みのファーストフードが全体をけん引したことから、前年同期比2.1%増とわずかに上回る結果となった。このうち、食肉の取り扱いが多いとされる業態では、ハンバーガー店を含むファーストフード洋風はオリンピックの自宅観戦でテイクアウトとデリバリーが増えたことにより、同15.8%増と前年同月をかなり大きく上回った。また、牛丼店を含むファーストフード和風は、同1.0%増と前年同月をわずかに上回った。一方、焼き肉は酒類提供の自粛要請により休業を選択した店舗も多くあったことから、同13.5%減と前年同月をかなり大きく下回った。

### J-オイルミルズ

## ファイバーフィード

### 乳用牛・肉用牛飼育用配合飼料

ファイバーフィードは、大豆皮を主原料とし、ペレット化した混合飼料です。大豆皮はND F含量が高いにもかかわらず、リグニン含量が低いので消化性が高く、高エネルギーです。高繊維、高エネルギーの原料である大豆皮をふんだんに使用した、ファイバーフィードはJ-オイルミルズにしかない、独自の飼料です。

夏場の飼料給与には、粗飼料の不足を補い、第一胃内の発酵の安定させる、ファイバーフィードをお勧めします。



成分	原物中	乾物中
粗たん白質	14.0%前後	16.0%前後
粗脂肪	3.0%前後	3.4%前後
粗繊維	23.0%前後	26.4%前後
粗灰分	7.0%前後	8.0%前後
カルシウム	0.40%前後	0.40%前後
りん	0.15%前後	0.17%前後
TDN	65.0%前後	74.7%前後